人生100年時代を見据えた資産形成

人生100年時代と言われて久しい昨今、経済活性化に向けて政府が掲げる「貯蓄から投資へ」の流れは加速している。家計の貯蓄を投資に振り向けて所得を増やし、資産形成を進める構想を描く中、金融機関には重要な役割が求められている。しずおかフィナンシャルグループの証券部門を担う静銀ティーエム証券の大石実社長と、資産運用会社グループのフランクリン・テンプルトン・ジャパンの桑畑卓社長、高橋礼子・投信営業部部長が、資産形成の在り方や投資戦略、より良い金融サービスの実現などについて語り合った。

〈企画・制作／静岡新聞社地域ビジネス推進局〉

静銀ティーエム証券 代表取締役社長 **大石 実**氏　フランクリン・テンプルトン・ジャパン 代表取締役社長 **桑畑 卓**氏　フランクリン・テンプルトン・ジャパン 営業本部 投信営業部 部長 **高橋 礼子**氏

桑畑 卓氏

●くわはた・すぐる／1993年三井信託銀行（現三井住友信託銀行）入社。2001年、シティグループ・アセット・マネジメント（現フランクリン・テンプルトン・ジャパン）に入社し、レッグ・メイソン・アセット・マネジメント（現フランクリン・テンプルトン・ジャパン）企画本部長兼営業本部長などを経て、2015年から代表取締役社長（現職）。

ライフステージに合わせ運用を支援

高橋　しずおかフィナンシャルグループは地域とともに歩む地域密着型の金融グループとして地元産業を支え、市民にはライフプランに沿ったさまざまなサービスを提供されています。お客さまの資産形成のサポートについてどのようにお考えでしょうか。

大石　地域に根差す総合金融グループの一員として静岡銀行と連携し、お客さまの最善の利益の追求とサービスの提供を第一にしています。お客さまのライフステージに合わせた資産運用を常に意識しつつ、多様化・高度化するニーズを捉え、グループの総合力を生かした理想的なポートフォリオを提案することで、お客さまのライフプラン、つまり夢の実現に向け取り組んでいます。

高橋　長期の資産形成のためには、どのようなことが大事だとお考えですか。

大石　資産形成は計画的かつ長期的に資産を育てることが大切です。金融商品の価格は変動するものですが「長期」で保有することで短期的な変動にとらわれない長期的に安定したリターンを目指すことができます。また、定期的に一定金額ずつ金融商品を購入することができる「積立」も、価格が安い時に多く、高い時は少なく購入することになり、結果として平均購入価額を下げ、損失リスクを抑える点で資産形成に有効です。

加えて、投資先資産を「分散」させることを併せて行う「長期・積立・分散」が資産形成には極めて重要と考えています。

当社ではこれらを実現するため、中長期の資産形成に資する商品ラインアップの充実に努めています。２０２４年から始まるＮＩＳＡの新制度では非課税枠が拡大されます。お客さまのメリットがより大きくなりますので積極的にご案内し、資産形成につなげたいと思います。

大石 実氏

●おおいし・みのる／1985年静岡銀行入行。支店サポート部長、清水支店長、本店営業部長、中部カンパニー長などを歴任。2020年６月、静銀信用保証代表取締役社長に就任。2022年６月から現職。

米国地方債ファンド「ムニボン」好評

高橋　大石社長がおっしゃるように、資産形成をする上では「長期・積立・分散」が重要な課題になってくると思います。

では、フランクリン・テンプルトンが考える投資家の長期の資産形成に資する運用戦略とはどのようなものでしょうか。

桑畑　新ＮＩＳＡに対するお客さまの期待は高く、資産形成の大きな柱になると思っています。高い成長が期待できるグロース株へ投資したい投資家もいらっしゃると思いますが、株価下落リスクも存在します。資産形成は長期継続が大事ですので、想定外の大きなダメージを避けることも大切です。特に銀行のお客さまには、損失が出る可能性の少ない商品への投資を考える方が多いのではないかと推測します。

そこで注目するのが債券の利息や株式の配当といったインカム収益です。インカム収益を長期にわたって積み上げることで相対的に安定した運用収益が期待できます。債券は長く利回りが低水準で推移してきましたが、昨年来大きく回復し、債券投資に安定したインカム収益の獲得と株式との分散投資効果という二つの魅力が戻ってきました。また、市場では来年以降の利下げも予想され、債券は利下げ局面での価格上昇によるキャピタルゲインも期待されます。

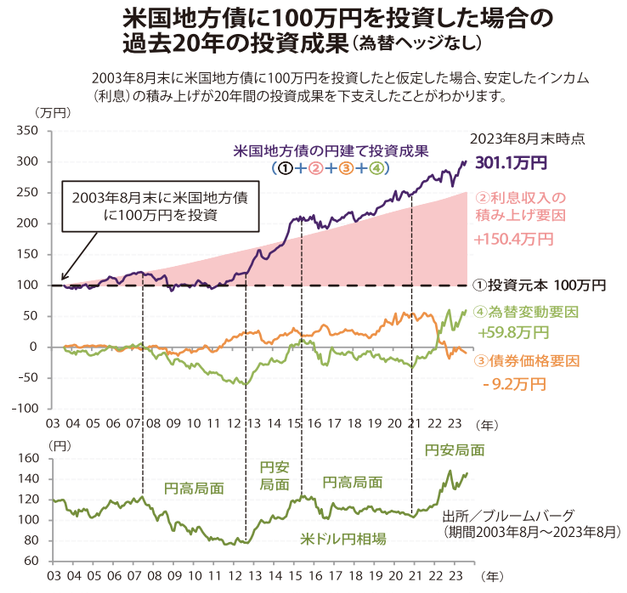
高橋　桑畑が申し上げた通り、昨年からマーケットが大きく変わり、債券投資、株式投資ともに魅力あるアセットクラスになっていると思います。そこで昨年、静銀ティーエム証券と一緒に「フランクリン・テンプルトン・アメリカ地方債ファンド（愛称ムニボン）」を開発、設定しました。当ファンドは米国の地方債に投資をします。高い利回りと信用力、長期的に安定したパフォーマンスが特徴です。利息収入が円高局面や債券価格の下落による損失分を相殺する力にもつながりますので、長期保有すればするほどリスクの低減につながります。

このムニボンの販売において、投資家の皆さまからどのような評価が寄せられていますか。

大石　お二人の話にもありましたが、最近は金利が上昇局面ということもあり、投資家にとっては転換期になっていると思います。ムニボンは投資対象の分かりやすさ、信用力と相対的な利回りの高さが特徴です。より安全性を重視する保守的な資金の運用を望みつつ、預金金利では満足できず、相対的に高いインカム収入をベースに長期で安定したリターンを期待される投資家の皆さまにご好評いただいております。

高橋 礼子氏

●たかはし・れいこ／1991年山一証券入社。大手外資系証券会社、大手国内・外資系運用会社を経て、2010年レッグ・メイソン・アセット・マネジメント（現フランクリン・テンプルトン・ジャパン）入社。2021年から現職。



高い信用力 情報提供力も強み

高橋　お客さまにより良い金融サービスの提供を実現するために、静銀ティーエム証券がフランクリン・テンプルトンに期待することは何でしょうか。

大石　投信商品のため、発行元の信用力は重要です。貴社グループは長年にわたるグローバルな資産運用業務で培ったノウハウにより、日本の機関投資家や個人投資家向けサービスに多くの実績を有しており、大変信頼しています。当社は、貴社が運用を行う多数の投資信託の取り扱いがあります。新たな商品導入時の研修と、導入後の営業店ごとの個別サポートやタイムリーな運用情報提供など、質の高いサービスも受けています。

桑畑　フランクリン・テンプルトン・グループは、米国カリフォルニア州サンマテオに本部を置くフランクリン・リソーシズ・インクおよび傘下の子会社で構成される世界最大級の独立系資産運用グループで、世界30カ国以上に拠点を有しています。世界中の個人投資家や機関投資家の皆さまに多種多様な運用商品と質の高いサービスを提供しています。当社は創業以来、米国建国の父の一人であり、優れた投資家でもあったベンジャミン・フランクリンの肖像画をロゴマークとしており、投資家の皆さまにとって資産運用サービスに対する信頼と安心の象徴となっています。

高橋　お客さまへのメッセージをお願いします。

大石　新ＮＩＳＡをはじめとする中長期の資産運用に資する商品・サービスのご提供と、お客さまへのコンサルティングを通じて資産形成をサポートいたしますので、ご関心のあるお客さまは、お近くの静銀ティーエム証券または静岡銀行の各店にご相談いただければと思います。

FRANKLIN TEMPLETON

静銀ティーエム証券にて取扱中

あなたの未来に寄り添いたい

投資家のみなさまへ

世界でも日本でも、あらゆるモノやサービスの値上げ（インフレ）の動きが広がりつつあります。
良い時も悪い時も、長期保有する上で、どのような資産に投資をしたらいいのでしょうか。
私たちは投資家の持つべき視点はこの3つだと思います。

視点1 相対的に高い利回り
視点2 信用力の高さ（安全性）
視点3 長期で安定したパフォーマンス

特集サイトはこちらから

3つを兼ね備えた投資のご提案

世界No.1の経済大国アメリカを支える米国地方債

フランクリン・テンプルトン・アメリカ地方債ファンド

（為替ヘッジあり）／（為替ヘッジなし）　追加型投信/海外/債券　新NISA成長投資枠対象ファンド（予定※）

愛称：ムニボン

英語で地方債のことを“Municipal Bond”（ムニシパル・ボンド）と呼びます。
※2024年1月1日以降は一定の要件を満たした場合NISA適用対象となります。

2023年8月末時点
利回り 5.4%※1
平均格付け Aa3～A1※2
※1：フランクリン・テンプルトン・アメリカ地方債マザーファンドが保有している有価証券に係る期限前償還などの影響を調整した利回りであり、ファンドの運用実績ではありません。

お申込み・お問い合わせは　SHIZUOKA FINANCIAL GROUP 静銀ティーエム証券

商　　号:静銀ティーエム証券株式会社　金融商品取引業者:東海財務局長（金商）第10号
加入協会:日本証券業協会
ご不明な点がございましたら、静銀ティーエム証券の営業店またはサポートセンター（0120-23-1184）までお問い合わせください。

※本資料に記載するデータは、過去の実績であり、将来の運用成果等を予測あるいは保証するものではありません。

設定・運用は フランクリン・テンプルトン・ジャパン
〒100-6536東京都千代田区丸の内1丁目5番1号新丸の内ビルディング（03-5219-5700）

【投資リスク】●上記ファンドは、値動きのある有価証券等に投資を行いますので基準価額は変動します。また、実質的に外貨建資産に投資を行いますので、為替の変動による影響を受けます。したがって、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。●当ファンドの信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。投資信託は預貯金と異なります。●当ファンドの基準価額を変動させる要因としては、主に「金利変動リスク」、「信用リスク」、「為替変動リスク」や「米国地方債に関するリスク」などがありますが、基準価額の変動要因はこれらに限定されるものではありません。ファンドのリスクについて、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。●分配対象額が少額等の場合は、分配を行わない場合があります。
【ファンドの費用】●**投資者が直接的に負担する費用**<購入時手数料>（静銀ティーエム証券でご購入の場合）5,000万円未満1.65%（税込）、5,000万円以上1億円未満1.1%（税込）、1億円以上0.55%（税込）<信託財産留保額>ありません。●**投資者が信託財産で間接的に負担する費用（保有期間中）**<運用管理費用（信託報酬）>純資産総額に対し**年率0.9075%（税抜0.825%）**※信託報酬は毎日計上され、日々の基準価額に反映されます。<その他の費用・手数料>売買委託手数料等は発生時に信託財産から支払われます。その他費用（監査費用等）はファンドの日々の純資産総額に年率0.05%を乗じて得た金額を上限とする額が信託財産から支払われます。これらの費用等については、運用情報等により変動するため、事前に料率、上限額等を表示することができません。※投資者の皆さまにご負担いただく手数料等の合計額については、当ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
お申込みに際しては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
【ご留意事項】●当資料は、広告としてフランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社が作成した資料です。●投資信託は預金ではなく、預金保険制度の対象ではありません。●投資信託は金融機関の預貯金とは異なり、元本および利息の支払いの保証はありません。●証券会社以外で投資信託を購入された場合は、投資者保護基金の支払いの対象にはなりません。●投資信託は値動きある証券（外国証券には為替リスクもあります）に投資しますので、組入証券の価格下落や、組入証券の発行者の信用状況の悪化等の影響による基準価額の下落により投資元本を割り込むことがあります。●過去の運用成果は将来の運用成果等を保証するものではありません。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。
●フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社（金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第417号、加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会）はフランクリン・リソーシズ・インク傘下の資産運用会社です。●その他の重要な事項に関しては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）等に詳しく記載されていますので、よくお読みください。

※2：平均格付とは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものです。平均格付はS&P、ムーディーズ及びフィッチ・レーティングスのうち最上位の格付で算出・作成し、ムーディーズの表記を記載。※「Bloomberg®」およびBloomberg Taxable Municipal Indexは、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited（以下「BISL」）をはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）のサービスマークであり、フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社による特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグはフランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社とは提携しておらず、また、フランクリン・テンプルトン・アメリカ地方債ファンドを承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、フランクリン・テンプルトン・アメリカ地方債ファンドに関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。